

海員春闘・団結イベント   勝ち取れ魅力ある労働環境   あらゆる波を乗り越えろ

3月5日の18時30分からナビオス横浜で、2025年度労働協約改定闘争勝利に向けた決起集会「2025年度海員組合関東協約改定闘争決起集会」を開催した。決起集会には関東地方支部が担当する現場組合員、船内委員や職場委員と執行部の約80人が参加し、今次海員労働協約改定闘争での団結を深めた。

決起集会は、嶋津勇生関東地方支部次長の司会で始まり、高宮成昭関東地方支部長があいさつで今年度の海員春闘へ臨む思いを語った。

続いて関東地区闘争委員会の2025年労働協約改定闘争スローガンに選ばれた作品が紹介され、石井創出光タンカー職場委員、伊勢田旭洸中島運輸職場委員、川畑遼太第一中央汽船職場委員に副賞が渡された。

次に組合本部から駆け付けた松浦満晴組合長が、今次春闘の闘争本部長としてあいさつを述べ、これから春闘交渉に臨む執行部・職場委員・現場組合員を激励した。

さらに決起集会の参加者で団結を深めるため、海友会の平野勝久会長（商船三井職場委員）の発声で協約改定闘争勝利に向けた乾杯を行った。

続いて外航・水産・国内の部門別での決意表明が行われ、外航部門＝田中翼日本郵船職場委員、国内部門＝横山祐貴商船三井さんふらわあ職場委員、水産部門＝浅地寛人日本海洋事業職場委員の3人が力強い決意を述べた。

会場の海員旗の両サイドには、10本の関東地方支部オリジナルの春闘スローガンが掲げられ、物価高騰が続く先行きが不透明な中、現場組合員の雇用と生活を守るため、今次労働協約改定闘争は不退転で臨む姿勢を表した。

決起集会では恒例の「掛け合いコール」があり、菅野聖智川崎汽船職場委員を皮切りに24人がリレーして、団結を盛り上げた。最後は大滝恒関東地方支部長代行が、今次労働協約改定闘争勝利を誓う閉会のあいさつを述べ、ガンバロウ三唱でイベントを締めくくった。「海員だより」